

ぎかいの杜

CONTENTS

6月定例会の審議	P2~3
第1回臨時会	P4
常任委員会審査報告／所管事務調査報告	P5~7
代表質問	P8~9
一般質問	P10~14
政務活動費	P14
議会の動き	P15
議員表彰	P16

NO.87 令和7年8月1日号

6月定例会などの内容をお伝えします。

恒例の夏花火復活

～ 7月6日 米代川花火大会 ～

6月定例会最終日の様子は
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。



起立採決（議案49号 令和7年度一般会計補正予算）

6月定例会の主な議事

- 専決処分承認を求めることについて（令和7年度北秋田市一般会計補正予算）
- 北秋田市営スキー場条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
- 令和7年度一般会計補正予算
- 令和7年度各特別会計補正予算
- 令和7年度各事業会計補正予算
- 財産の取得について（凍結防止剤散布車、除雪ドーザ）
- 専決処分の報告について（北秋田市保育所を市外在住の保育に欠ける児童に使用させることについて）
- 専決処分の報告について（議決を経た工事請負契約の契約金額を変更することについて（北秋田市消防署阿仁分署新築工事（建築工事））

令和7年
6月定例会

令和7年度一般会計補正予算

5億8949万4千円を追加

6月定例会は、6月12日から6月25日までの14日間の会期で行われました。

今定例会では、承認1件、条例案5件、補正予算案8件、単行議案3件、報告8件、陳情3件並びに追加提出された補正予算案1件について審議し、陳情第44号を継続審査、それ以外については、原案のとおり可決及び採択しました。

▼令和7年度一般会計補正予算

今定例会に上程された令和7年度一般会計補正予算は、5億8949万4千円を追加し、総額は25億1億8752万5千円となりました。

主な事業とその予算額は下記のとおりです。

主な補正予算	予算額
外国人就労者確保支援事業補助金	18,000千円
森吉山荘管理事業	12,220千円
大太鼓の館整備事業	35,594千円
道の駅たかのす整備事業	145,141千円
阿仁スキー場パーク&ライド実証事業	12,862千円
災害対策事業	15,731千円

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議案名	所属会派・議員氏名	採決結果	清明会					新創会					日本共産党議員団			公明党	無会派			
			小笠原 寿	永井 昌孝	佐々木正史	松橋 久敏	堀部 壽	中嶋 洋子	長崎 克彦	佐藤 文信	松橋 史尚	杉淵 一弘	五代儀義富	佐藤 重光	板垣 淳	三浦 倫美	久留嶋範子	福田 牧子	木村 謙一	福岡 由巳
※議長は採決には加わりません。																				
議案第48号 北秋田市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	
議案第49号 令和7年度北秋田市一般会計補正予算（第3号）		可決	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●
継審陳情第40号 「選択的夫婦別性制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書		継続審査	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●
陳情第44号 再審法改正（刑事訴訟法の一部改正）の意見書の採択を求める陳情書		継続審査	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●

賛成・反対討論

▼議案第48号

反対討論 板垣 淳 議員

物価高騰で市民が悲鳴を上げているときに公共料金の値上げをかぶせるのはあまりに酷だ。値上げ総額600万円を市が負担すれば値上げしなくても済む。その財源は十分ある。

反対討論 福岡 由巳 議員

改正案は、基本料金が平均して年換算約4800円の大幅な値上げ、しかも、森吉・合川等は鷹巣よりも年換算6600円高い極端な格差。これは、当局が審議会を15年間も開かず放置してきた責任大である。

賛成討論 佐々木 正史 議員

今後利用者や使用量が減少するが、インフラ整備は掛かり増しになる事は必至。国への補助要請をしながらも経営しなくてはならないし、条例改正は痛みが有るが賛成する。

賛成討論 永井 昌孝 議員

値上げを将来に先延ばしすると次の世代の市民への負担が大きくなると考えられる。3年間、2分の1を一般会計より負担し可能な限り市民に向けた負担の軽減を図っていることから賛成。

▼議案第49号

反対討論 三浦 倫美 議員

道の駅たかのす整備計画予算が含まれており反対。モンベル店舗の建築、ぶっさん館解体と休業補償等民間企業への公費負担が大きいが、今後交通量減少で利用者目標60万人は不透明。計

画は撤回を。

反対討論 福岡 由巳 議員

道の駅たかのすは33億円でリニューアルしたとしても旧沿道が全線開通することで国道7号線交通量の激減が予想され費用対効果が期待できない。モンベル店相当額5億円は税金の使い方方で問題大。

賛成討論 佐々木 正史 議員

33億の概算事業費が先行しているが、基本・実施設計が出てからの話であり、この補正予算で詳細な計画が出る。事業費を減じて陳腐な施設になつては意味が無い。当局の熱意を汲み、背中を押すべき。

賛成討論 小笠原 寿 議員

「道の駅」は旅の目的地としての発展を遂げ、さらには地方創生や観光、防災の拠点として地域全体を活性化するきっかけとなる重要案件である。

▼継審陳情第40号（継続審査に對して）

反対討論 久留嶋 範子 議員

国会での、法案審議は28年ぶり。様々な側面から議論されているが国会では結論が出ず、継続審査。この制度は、誰かを不幸にするものではなく、それぞれの思いを尊重するもの。一日も早く法制度を。

反対討論 福岡 由巳 議員

3月議会でも述べたが、陳情書は分かりやすく詳しく説明され理解できるものである。この制度導入は同じ姓を義務付ける民法第750条を速やかに改正しようとするもので即刻採択すべきである。

賛成討論 福田 牧子 議員

委員会において、家族制度の危機、生まれた児の氏の課題・解決方法等について、十分な意見交換や討議がなされなかったため継続審議すべきと考える。

▼陳情第44号（継続審査に對して）

反対討論 板垣 淳 議員

原案に賛成、継続審査に反対する。袴田さんは48年間死刑執行に怯え、精神的な病氣になった。えん罪服役者はまだ何人もおり、間違った裁判をやり直すために再審法は急いで改正すべき。

反対討論 福岡 由巳 議員

袴田事件は再審請求してから判決まで43年。長期にわたる裁判の原因は検察の手法に問題。基本的なルールが守られていないことから現行刑事訴訟法改正は急務であり陳情書は即刻採択すべき。

賛成討論 杉淵 一弘 議員

二項目の、「検察の不服申し立てを禁止する。」の部分で、禁止することは、検察側の意見を十分に反映できない可能性や、えん罪ではない事件で、再審が開始される可能性も否定できない。

※討論は、付託された各常任委員長の報告に対して「賛成」または「反対」で行われています。
例として、委員長の報告が「可決」であった場合は、「可決」に対して賛成か反対か討論します。

第1回 臨時会

令和7年度 一般会計補正予算

4億6143万4000円を追加

第1回臨時会が4月23日に開催され、承認6件、条例案1件、補正予算案1件、同意案件6件の計14件について審議しました。

今臨時会に上程された補正予算には、プレミアム付応援チケット（第2弾）事業に伴う関連予算等が提案されました。審議の結果、いずれも原案のとおり承認及び可決としました。

《第1回臨時会の主な議事》

▷専決処分の承認を求めることについて（北秋田市市税条例の一部を改正する条例の制定について）

▷専決処分の承認を求めることについて

（令和6年度一般会計補正予算（第12号））

▷北秋田市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

▷令和7年度一般会計補正予算（第1号）

第1回 市議会全員協議会

- ・道の駅たかのすについて
- ・森吉山荘について
- ・太平湖遊覧船について
- ・水道料金の改定について



第1回全員協議会が5月16日に開かれ4つの案件について当局から説明があり協議が行われました。

—道の駅たかのすについて—

道の駅内にはモンベル、ツーリストセンター、物販産直売り場、屋内遊戯施設、飲食店等を配置し、トイレ、授乳室、シャワー室は24時間を想定。

アウトドア拠点施設として、株式会社モンベルが直営店を運営するほか、ツーリストセンターでは、北秋田市及び周辺地域の観光案内機能に加え、地域のガイド人材と連携することで、市内アウトドア・アクティビティ体験への誘導や、モンベルと連携したアウトドア・アクティビティ体験の実施を行うと説明がありました。

道の駅たかのす整備事業と太太鼓の館整備事業を合わせた概算事業費は約33億8千万円となり、財源内訳は、国庫支出金が約12億2千万円、地方債が約16億2千万円、一般財源が約5億3千万円の見込み。

道の駅来場者数の目標を60万人とし、道の駅の波及効果により、森吉山県立自然公園や伊勢堂岱遺跡への観光客の増加を見込んでおり、完成は令和9年10月頃を予定していると説明がありました。

—森吉山荘について—

森吉山荘の再稼働計画として、本館の改修工事や耐震診断等を含め、概算事業費を約4億6千万円とし、財源

内訳が国庫支出金で約2億2千万円、地方債が約2億2千万円、一般財源が約1千2百万円を想定していると説明がありました。

宿泊客数は最大32名とし、スケジュールとしては、民間事業者管理運営意向調査や、耐震診断等を経て、改修工事を令和9年度中と想定していると説明がありました。

—太平湖遊覧船について—

知床遊覧船の沈没事故以来、国の規制が強化され、事業者への負担が大幅に増加したことに加え、スタッフの高齢化もあり人員不足が顕著となったことから、運航事業者との協議により、小型船による「渡し船方式」であれば運航が可能との結論に至り、運航開始に向け準備を進めていると説明がありました。

—水道料金の改定について—

水道料金の改定案を改定率29.39%とし、改定に至った経緯として、人口減少による収益の減、老朽管の更新や、配水地の耐震化事業もあり、経営が急激な悪化をたどると予想されていることが挙げられました。

物価上昇にある中、料金改定に伴う経過措置として、一般家事用の基本料金引き上げ相当額を一般会計から繰入れ、使用者負担を軽減すると説明がありました。

総務文教常任委員会

鷹巣中学校体育館にAED設置

[委員長]小笠原寿 [副委員長]五代儀義富 [委員]杉淵一弘／板垣 淳／長崎克彦／堀部 壽

当委員会に付託された案件は、承認1件、予算案2件、陳情3件の計6件でした。

令和7年度一般会計補正予算の防災ラジオの森吉山送信局の一部が落雷による被害を受けたことに対する工事請負費について、総務課の審査では委員から「この工事は今後落雷に遭わないように落雷対策を含めた工事費か。」との質疑があり、当局からは「今回はあくまで現状復旧の工事である。落雷対策については業者と協議しており、何が効果的か検証している段階である。」との答弁がありました。また、財政課の審査では委員から「落雷被害について、保険に入っていないなかったものか。」との質疑があり、当局からは「保険には加入しており、決定次第、歳入で受けることになるが、今回の歳出の財源としては財政調整基金を充当するものである。」との答弁がありました。

学校教育課の審査の中で、

鷹巣中学校体育館に設置予定のAEDについて、委員から「これをもって教育委員会が管轄する各建物にAEDが完備されたということになるか。」との質疑があり、当局からは「学校にはそれぞれAEDが既に設置されている。鷹巣中学校では校舎の中に設置されており、部活動の地域移行を進めている中で、休日など校舎側の閉鎖時に体育館からの出入りの場合の対応のために設置するものである。」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。また、陳情3件のうち2件は、採択し意見書を提出すべきものとし、1件は賛成多数で継続審査とすべきものと決しました。

(委員長 小笠原 寿)

所管事務調査報告

総務文教常任委員会

西宮市・池田市を

視察研修

調査項目

▽放課後キッズルーム事業について
▽不登校対策について

放課後キッズルーム事業を展開する西宮市と不登校児童に寄り添う池田市に行つて来ました。学校施設等を活用して子供の居場所をつくり、子供の自主的な遊びや学習を通して子供の育ちを支援しようとする西宮市では、市職員であるコーディネーターを学校に配置して学校の支援も行いつつ、放課後は地域の方々とともにきめ細かな見守りを目指す直営型と趣旨を維持しつつ事業者に委託する委託型を通してあくまでも自分の責任で自由に遊び・学ぶ空間を提供していました。

「ビーンズ(Beans)」と名付けられた教育支援センターを開設して不登校児童に対応している池田市。学校に行こうと思つていても行けなかったり、何か引つ

かりがあつて、なかなか学校に足が向かない等、こうした状況にある子どもたちが、安心して過ごせる暖かな場所を「ビーンズ」と位置付けて、子どもたちがここの活動や他者との関わりを通して、自ら行動する意欲を高める事を目指し、カウンセリング等により不安を和らげ意欲を高めて自立する心を育てること、体験活動、自然観察、軽スポーツやワーク等の活動を通して生活のエネルギーを高めること、自主活動や自主学習を援助して自信を育むことを狙いとしていました。当市にも「リフレッシュ学園」があり、その活動は全国に知られております。「スマホ」の普及や「コロナ禍」によって増え続ける「不登校児童」への対応はますます重要なものとなっている事を強く意識する事となりました。

(文責者…副委員長 五代儀義富)



放課後キッズルーム事業を学ぶ(西宮市)

市民福祉常任委員会

言葉の教室で子どもの語彙力改善

【委員長】永井昌孝 【副委員長】福田牧子 【委員】木村謙一／久留嶋範子／中嶋洋子／佐藤文信

当委員会に付託された案件は、条例案3件、予算案7件、陳情1件の計11件でした。

令和7年度北秋田市一般会計補正予算所管分、こども課関係で当局から「近年の少子化やコロナ禍を経て5歳児の保護者の5人に1人が言葉の遅れに不安感を抱いている現状を受け、円滑な学校生活への伴走型支援の一環として、ことばの教室を新規支援として実施したい」との説明に委員から「対象人数と状況、提供する内容について」質疑があり、当局から「今年度は20名の予定。5歳児の健康相談でも語彙力の少なさや間違った言葉遣いが顕著にみられ、小学校に上がる前に言葉の教室を実施しスムーズな学校生活を過ごせるような事業を実施したい」との答弁がありました。

医療健康課関係、新型コロナワクチン接種委託料について「昨年度は自己負担額4千円で11%が接種、罹患すると後遺症がなかなか

改善されないこと、インフルエンザよりも死亡リスクが高いこと、専門の治療薬が高額なことなど早期回復が望ましいことから接種率向上を目指し、自己負担額3千円程度、接種率20%を目指す」との説明がありました。

選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書採択に関する陳情書について、委員から「継続審査という形でそれぞれの理解を深めたり、意見を互いに話し合う時間を設けたほうがいい」といった意見や「国会でも審議され意見が分かれているが地方から声を上げていくべきで継続審査ではなく賛成の立場で陳情を上げていくべき」といった意見がありました。

以上のような審査を踏まえ「選択的夫婦別姓制度の導入」については継続審査、そのほかの議案については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました
(委員長 永井昌孝)

産業建設常任委員会

道の駅たかのす建設費増の理由は

【委員長】松橋久敏 【副委員長】福岡由巳 【委員】三浦倫美／松橋史尚／佐々木正史／佐藤重光

当委員会に付託された案件は、承認1件、条例案2件、予算案4件、単行議案3件の計10件でした。

北秋田市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について、委員から「物価が高騰している中で、水道料金の値上がりで市民の負担に重なってくる。思いとどまることや、市で負担することを検討しなかったのか」との質疑があり、当局からは「今の経営状況を考えれば、改定の時期を延ばすと、改定率がもっと高くなる。基本料金の上昇分については、経過措置を設ける」との答弁がありました。

令和7年度一般会計補正予算の産業政策課の審査では、外国人就労者確保支援事業補助金について、委員から「活用が見込まれる事業者は」との質疑があり、当局からは「介護、建設の事業所が見込まれる」との答弁がありました。

観光課の審査では、道の

駅たかのすについて、委員から「建設費が13億9千万円から33億8千万円に増えた理由は」との質疑があり、当局からは「大太鼓の館の修繕費、モンベルのアウトドア施設、用地購入費、ぶっさん館の移転補償費が加わったため」との答弁がありました。また、森吉山荘について、委員から「黒字になる見通しはあるのか」との質疑があり、当局からは「黒字になるとはつきりは言えないが、少なくとも温泉宿泊施設として再開するよりも、コストはかからない見込みである」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、採決では、北秋田市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定と令和7年度一般会計補正予算は賛成多数で可決となり、そのほかの議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 松橋久敏)

市長の施政方針を問う

会派代表質問

《日本共産党議員団》

1. 総務部の施策について
2. 財務部の施策について
3. 市民生活部の施策について
4. 健康福祉部の施策について
5. 産業部の施策について
6. 教育委員会の施策について

《 清 明 会 》

1. 総合政策について
2. 産業政策について
3. スポーツ振興について
4. 教育振興について

《 新 創 会 》

1. 観光振興について
2. 財産管理について
3. ゼロカーボンシティ宣言について



会派代表質問

3人以上の会派の代表が行う、市長の市政方針に対しての質問です。一定の議員数を有する会派ごとに調整して質問することで、重複する質問を減らし、円滑かつ効率的な議事運営を図るために採用しています。

※QRコードから会派代表質問の映像がご覧いただけます

日本共産党議員団



板垣 淳



中小家族農業を 支援しコメ増産を

Q 交通弱者に配慮すると述べたが、であれば4月から「じょうもんパス」を値上げしたことは矛盾する。

A バス運行業者が運賃を引き上げたことに連動して値上げした。

Q 特殊詐欺被害に心を痛めている。相談体制の充実を図ることだが具体的には。

A 相談内容が年々複雑かつ多様化している。相談員だけでなく市職員も研修し、対応力向上に努める。出前講座など周知活動も行う。

Q 古くて使えない空き公共施設は早く解体すべき。市民に適正管理や解体を指導しているのに市自身が放置したのでは示しがつかない。

A 速やかに実行する。



特殊詐欺被害

Q 検診受診率の向上を目指すと言いつながら、検診会場を減らしたのは矛盾する。

A プライバシー確保や感染予防観点から減らした。周知と送迎をする。

Q コメ不足の今、大規模農家だけでなく中小家族農業も支援して、主食と里山を守らなければならない。だが市長の施政方針は例年と同じで力の入れ具合が伝わってこない。

A 大規模農業は生産量の確保、小規模農業は農地の多面的機能や地域コミュニティの役割もあり、必要な支援を行う。

清明会



小笠原 寿



公共交通の再編を 実態調査で検討

Q 公共交通サービスの再編を考える上で、可能な限り門口からきめ細かなサービスが出来る「自治体ライドシェア」の導入を併せて、スクールバス車両の空き時間を利用した公共交通サービスを提供できないか。

A 各路線の利用実態調査を実施しているところであり、自治体ライドシェアの導入や、スクールバス車両の空白時間を有効に活用できるか検討していく。

Q 宿泊施設誘致については業界経営管理者が熟読されるホテル業界誌などにプレスリリースすることも有効的と考えるが。

A 業界誌を活用した誘致のためのPRも有効な手段と考えるので掲載について検討していく。

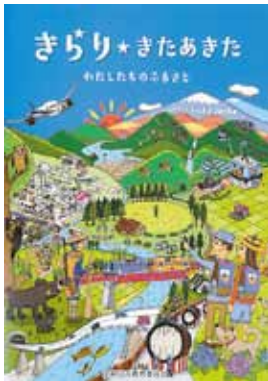
Q スケボーパーク等のニュース

ポーツの環境整備の候補地は。

A 現在、国土交通省能代河川事務所が栄地区に整備を予定している水防災拠点の平時利用を考えているが、完成まで時間を要することから、廃校となった体育館の活用についても検討する。

Q ふるさと教育読本である郷土資料集「きらり☆きたあきた」を市のホームページ等で閲覧できれば、ふるさと回帰や移住定住など幅広く活用できるのでは。

A 写真や資料等はふるさと教育の目的で提供いただいていることから、ホームページの掲載を含めて資料提供者から許可を頂けるよう交渉を進めていく。



評価の高い郷土資料集

新創会



佐藤 文信



資源の地産地消で ゼロカーボンを

Q 公共施設解体基金10億円を活用し、速やかに推進することで費用対効果が上がると思う。

A 速やかに実行に移す。

Q 観光振興について、ホテル建設が地域経済効果にプラスと思う。トップセールスも必要ではないか。

A 本市の観光やビジネスを取り巻く環境が大きく変化している。今後は本市の優位性や課題を客観的な視点で調査し、大型宿泊施設誘致の実現を目指す。

Q 2030年までにゼロカーボンシティ宣言をした。地域資源である森林や水力を活用することで、企業誘致等の取り組みに向けての方策は。

A 温室効果ガスの削減に向けて「北秋田市地球温暖化対策実行

計画」の策定を進めている。

Q 「木質バイオマス発電」や「小水力発電」の活用は、地域経済に極めて有意義な方策と思う。

A 本市は豊富な資源に恵まれ、「木質バイオマス発電」や「小水力発電」に適した地域と考えるので積極的に推進する。

Q エネルギー消費効率の高いエアコンや照明機器等の導入、更新に助成する考えは。

A 市民アンケートでも、約7割の方から初期費用負担が大きいとの回答がある。新たな支援制度の創設を前向きに検討する。



材料の地域資源

活かそう市民の声

市政を問う！ 一般質問

一般質問は、6月16日・17日の2日間で行われ、8人の議員が登壇しました。

板垣 淳 議員 (P10)

- ◆道の駅たかのす整備計画について
- ◆森吉山荘改修計画について
- ◆マイナ保険証について

松橋 史尚 議員 (P11)

- ◆市長の政治姿勢について (所信表明について)
- ◆飲食店のキャッシュレス化について

三浦 倫美 議員 (P11)

- ◆農業支援策について
- ◆災害対策について
- ◆物価高騰対策について

木村 謙一 議員 (P12)

- ◆物価高の状況における子育て世帯の支援について
- ◆選挙投票所について
- ◆雪害時の防災について

杉渕 一弘 議員 (P12)

- ◆道の駅について

福田 牧子 議員 (P13)

- ◆障がい者(児)福祉について
- ◆公営住宅について

福岡 由巳 議員 (P13)

- ◆「道の駅たかのす」リニューアル計画について
- ◆森吉山荘の改修工事計画と事業再開について

久留嶋 範子 議員 (P14)

- ◆北秋田市こども計画について
- ◆学校トイレに無料の生理用品を
- ◆民生委員の改選にむけて

※QRコードから一般質問の映像がご覧いただけます

板垣 淳 議員

(日本共産党議員団)

33億円の道の駅
計画は再検討を

Q 道の駅たかのすの整備費を市は当初約13億円とした。私は道の駅ふたつより1億円も高いとして見直すよう求めた。そして再検討して出てきたのがなんと33億円。とても驚いている。物価高、コメ不足、人口減少、クマ、特殊詐欺さらには猛暑、豪雨水害など市民の心配は尽きない。市のお金はこのようなくらしを守るために使うべきであって、ハコモノに大金を投入できる余裕はない。しかも道の駅の中核となるぶっさん館もモンベルも民間企業だ。民間の商売のために公のお金を使うのは許されない。老朽化した大太鼓の館は修繕し、ほかは白紙撤回、再検討すべき。

A 農林業商工業の所得向上、アウ

トドア関連の誘客と周遊の拠点、関係人口増と地域活性化、観光消費の拡大、そして新たな雇用創出となる。

Q 森吉山荘を温泉も食事もない簡易宿泊施設として再開させるといふ市の方針は、地元の理解を得られていない。

A 理解を得たと考えている。

Q マイナ保険証を持っていない人は資格確認書をもらえるので問題はないが、マイナ保険証を持っている人は紙の保険証の有効期限が切れたとき混乱する。なので他市ではマイナ保険証保有の有無に関わらず国保加入者全員に資格確認書を交付するところもある。当市でもそのようにできないか。

A 考えていない。



マイナ保険証

松橋 史尚 議員

(新創会)



マーケティング課
の創設を

Q 民間では当たり前だが、Who x What x How、「誰」対して価値を届けるのか、「どんな価値を提供するのか」、「どうやって価値を届けるのか」、そして「なぜ、それをやるのか」のコンセプトとなるWhyを、津谷市長が目指す北秋田イメージの具現化としてマーケティング戦略を進める意味でも、北秋田市に新たにマーケティング課を設立することが必要と考えるがいかがか。

A マーケティング課の創設については、既に設置をされている他の自治体の事例や県のマーケティング手法を参考としながら、本市における今後の施策展開にどのように生かせるか、研究したいと思う。

Q 北秋田市の飲食店の軒数は何軒あり、そのうち、キャッシュレス決済をしている軒数は何軒か。

A 市の商工会に加盟している飲食店100軒のうち、導入済みは16軒である。

Q 近年のコロナ禍で打撃を受けた飲食店に対し、グローバルスタンダードであるキャッシュレス決済を推し進めることで、機会損失を防ぎ、売上と利益の確保に結びつける上で必要と考えるが、支援策の考えはあるか。

A 今後も社会情勢や市内の導入状況に注視し、関係部署と連携しながら、必要な支援について柔軟に取り組んでいく。



マーケティングでデータ化

三浦 倫美 議員

(日本共産党議員団)



比内地鶏のブランド
を守る取組みは

Q 秋田県比内地鶏ブランド認証制度の認識と生産者への支援策は。

A 飼育期間150日以上、放し飼いや飼育密度制限等、厳格な生産基準、販売まで各段階の監視体制、情報開示が定められた重要な制度。本市が理事の「秋田県比内地鶏ブランド認証推進協議会」を通じて制度の適正運用と信頼確保に努める。市は飼育農家へ比内地鶏素雛購入支援や鳥インフルエンザ対策の消毒剤配布を行っており、国や県も羽数生産拡大や新規就農に対する設備導入支援を行っている。雪害支援策を県と協議研究する。

Q 環境保全型農業についての方針は。

A 国は、化学肥料や農薬使用を抑え環境負荷軽減を目指しており、

県と県内25市町村が共同で「秋田県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本計画」を策定。市は化学肥料や農薬使用適正化で環境負荷軽減や「有機堆肥活用支援事業」で土壌の健康維持を進めている。国の「環境保全型農業直接支払交付金事業」の周知も図っていく。

Q 大船渡市林野火災の派遣活動は。

A 本市消防本部は消防庁長官から緊急消防援助隊出動の要請を受け、秋田県大隊の第一次隊から第六次隊として19日間、延べ36名派遣し、大船渡市三陸町綾里地区中心に消火活動や警戒巡視活動に従事した。

Q 物価高対策、チケット給付型を。

A 10月からの第2弾もチケット購入型を実施。今後は対応を検討する。

Q 学生支援策拡充を。

A 今後、社会動向注視し柔軟に対応。



大雪で飼養農家ハウス半壊

木村 謙一 議員

(無会派)

物価高における
子育て世帯の支援は

Q 物価高騰は我々が大切にすべき子育て世帯の家計を圧迫し、子育ては困難さを増している。児童クラブを利用している児童への昼食提供や夏休み・冬休み中の食費一部負担など、給食の無い時期の支援は考えているのか。

A 支援のあり方や公平性、負担額など様々な観点から調査・研究する。

Q 子育て世帯の家庭にもお米の配布などを含めた支援は考えているのか。

A お米の確保が困難であることから、支援の在り方について調査・研究し取り組む。

Q 4月の市長選で投票率が過去最低を更新し、有権者の4割近くが投票しない状況で、投票率の向上

に向けて地域に向いて巡回式期日前投票所の開設や投票所までの送迎車を出すことは考えていないか。

A 各投票所の利用状況を把握しながら、他市の取組やその検証結果を参考に、移動投票所や移動支援の導入について調査・研究を進める。

Q 雪の影響による道路付近の立木が斜めになったり、電線に引っ掛かる状況の時の連絡体制は。

A 電線や電柱などの電気設備に関する連絡先は電力会社である。

Q 高齢者にとって困難である降雪時の避難所を自治会館など身近な場所にできないか。

A 職員の配置や建物の設備面で課題が多く、現実的には困難。



倒木被害 (幸屋渡地内)

杉淵 一弘 議員

(新創会)

道の駅たかのす
リニューアル

Q 道の駅たかのすリニューアルの概算事業費が、当初から2倍以上(33億8千万円)となった要因は。

A 当初の基本計画には含まれていなかった、アウトドア拠点施設の設置による建設費の増加に加え、用地補償費や大太鼓の館の大規模改修に係る費用等も含んだもの。財源については、新しい地方経済・生活環境創生交付金、その他の補助金、地方債等も最大限活用する等、一般財源の持ち出しが極力少なくなるよう努める。

Q 農産物販売は、別棟でJ Aが販売していたが、今後はどうか。また、農産物の集荷方策はどう考えるか。

A 産直売場は新しい道の駅棟に入る計画としており、地元の農産物の販売は、道の駅の集客力に大き

な影響を与えることから、指定管理者がJ Aを通じた仕入れ、地元の農家との直接契約による仕入れ等を通じて確保することを想定している。

Q 完成後年間60万人の利用者を見込んでいるが、計画に無理があるのではないか。

A 昨今は道の駅に行くこと自体を目的とする人も増えているため、必ずしも前面交通量と来場者数が相関関係にあるとはいえない状況にある。このため管理運営計画検討委員会では、目標値に対する疑義はなかった。

Q 赤字経営となった場合の対応は。

A 産直や物販、飲食について魅力ある商品を提供する体制を整え、収益につなげたい。



県内第1号の道の駅

福田 牧子 議員

(公明党)

障害者（児）・住宅
困窮者への福祉を

による理解が難しい児には、文字による支援や生活サポート員等を個別に対応。

Q 「障害者差別解消法」改正により、合理的配慮が民間事業者も義務となった。市民や事業者への理解促進に向けた取組と、研修等の実施は。

A 昨年4月に広報に掲載、出前講座は1件。支援協議会を通じた周知、研修会も拡げていきたい。

Q 高齢単身者の住宅困窮に合わせた単身用市営住宅の拡大を。

A 弾力的に運営、個々の事情にあった柔軟な対応をしていく。

Q 改正災害対策基本法において、避難行動要支援者の避難行動に関する個別避難計画を市町村が作成することが努力義務となっている。進捗状況と、介護度変化時の見直し、避難訓練などの状況は。

A 要支援者名簿登録者の約2割4分が計画作成している。見直しや避難訓練の実施はできていない。計画を有効に活用できるように取り組む。

Q 個別避難計画更新時にも交付税は適用されるか。

A 毎年定額交付されるため、算入されるとの認識。

Q 聴覚情報処理障がい、聞き取り困難症が日本にも120万人と推定。当局の状況と対応は。

A 診断されたケースはない。音声



障害者差別解消法の改正

福岡 由巳 議員

(無党派)

改修で誘客増は
図られるか

Q 間もなく日沿道が全線開通すると周遊客は高速道路を利用して拠点から拠点へと移動することになる。道の駅たかのす前の国道7号線は交通量の激減が懸念される。

A リニューアルすることで交通量に左右されない目的地化が図られると考える。

Q 隣に道の駅ふたつがある。日沿道が通ればサービスエリア的な存在として利用者は今後とも増加すると考える。一方道の駅たかのす前の7号線はモンベル店ができても入り込み客数は太刀打ちできないのではないか。

A 最近では、道の駅を目的地化し梯

子をする観光客も非常に多くなっている。太刀打ちできないという認識は持っていない。

Q 以前から多くの市民はモンベル社を北欧の杜公園にと望んでいた。この検討は行われたのか。

A モンベル社が視察し会長自らが道の駅に出店することを決めた。

Q モンベル社が地域に魅力と将来性があるならば、モンベル社が独自に建設すればよいのではないのか。誘致企業には固定資産税の経年免除があるのみでないか。約5億円の建設費は問題でないか。

A 全国的な誘致合戦で自治体が箱を用意しテナント形式の取り組みが進んでいて道の駅たかのすだけが違う形での交渉は困難である。



33億円で60万人を誘客？

久留嶋 範子 議員
(日本共産党議員団)



こども計画が策定
今後の具体策は

Q 北秋田市では、子どもから若者までを対象とした「こども計画」を29年度までの5年間で策定した。基本理念で4つの基本目標を掲げているが、今年度はどのように進めていくのか。

A 策定にあたって行ったアンケートでは、所得の増加や子育て費用の軽減など経済的な安定に対する関心が高いことが分かった。地域への定住については、就労環境の向上や遊び場の確保など、魅力的な環境づくりが求められることが読み取れた。アンケート結果を踏まえて、事業の推進を図る。

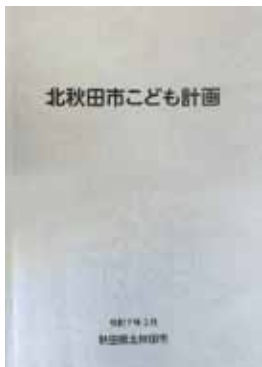
Q 市内小学校のトイレに生理用品の配備を。生理は一人ひとり違う。どこでも生理用品が手に入る環境をつくることは、女性や子どもた

ちの人権、健康や教育機会の保障につながる。

A トイレに配備している学校はなく、各校とも保健室に常備、困ったときは保健室を訪れるよう伝えられている。トイレに常備することで児童生徒の利便性が増すと考えられることから、実施する方向で検討する。

Q 民生委員の改選にむけて、25年12月1日、全国一斉に改選になるが、現在の定数150人の委員数は、125人と不足している。今後どう考えているのか、対策は。

A 全国的に民生委員・児童委員の成り手不足が深刻化している。本市においても、候補者推薦依頼など、成り手の掘り起こしに努めているが、十分な成果に至っていない。



北秋田市のこども計画

令和6年度 政務活動費の公表

政務活動費は、議員の調査研究活動の充実を図るため、議員活動に掛かる経費の一部を補助するもので、北秋田市では議員1人あたり月額1万円を会派に交付しています。

また、会派に属していない議員については、月額1万円を議員個人に交付しており、いずれも年度終了後には、全支出の領収書を添えた収支報告書が作成され、残額については市に全額返還されています。

(単位:円)

		清明会 (7人)	新創会 (4人)	日本共産党 議員団(3人)	福田牧子	福岡由巳	五代儀義富	計
収入	政 務 活 動 費	840,000	480,000	360,000	120,000	申請なし	100,000	1,900,000
	計	840,000	480,000	360,000	120,000		100,000	1,900,000
支出	調 査 研 究 費	611,670	231,700	71,100	94,620		0	1,009,090
	研 修 費	0	0	45,000	0		0	45,000
	広 報 費	0	0	80,230	37,400		0	117,630
	広 聴 費	0	0	0	0		0	0
	要 請 ・ 陳 情	0	0	0	0		0	0
	会 議 費	0	0	0	0		35,160	35,160
	資 料 作 成 費	0	0	0	0		0	0
	資 料 購 入 費	0	0	15,972	0		2,420	18,392
	人 件 費	0	0	0	0		0	0
	事 務 所 費	0	0	0	0		0	0
計		611,670	231,700	212,302	132,020		37,580	1,225,272
残 額		228,330	248,300	147,698	0		62,420	686,748

※会派の異動等により、会派及び個人の両方に名前がある場合があります。

議会の動き

＜4月16日～7月15日＞

4月

- 16日・議会運営委員会
- 17日・市民福祉常任委員会
所管事務調査
- 19日・第61回河田杯マラソン・
大館北秋田ロードレース
大会
- 23日・第1回臨時会
- 24日・第77回東北市議会議長
長会定期総会（～25日）

5月

- 2日・大館能代空港利用促進協
議会監査
- ・県道矢坂糠沢線整備促進
協議会監査
- ・森吉山ダム整備促進協議
会監査
- 8日・全国自治体病院経営都市
議会協議会第53回定期総
会
- 13日・産業建設常任委員会
所管事務調査
- ・東北日本海沿岸市町村議
会協議会役員会・総会
（～14日）
- 16日・第1回全員協議会
- ・北秋田市老人クラブ連合
会総会
- 20日・全国市議会議長会第101回
定期総会
- ・北秋田市観光物産協会解
散総会
- ・一般社団法人北秋田まち
づくり観光協会設立総会
- 21日・総務文教常任委員会
所管事務調査（～23日）
- 22日・米代川治水期成同盟会、
秋田県北部国道7号整備
促進期成同盟会、日本海
沿岸東北自動車道建設促
進秋田県北部期成同盟会
令和7年度合同総会
- 23日・国道46号「高規格道路」
盛岡秋田道路整備促進期
成同盟会、大曲鷹巣道路
整備促進期成同盟会
令和7年度合同総会
- 26日・北秋田市商工会会員親睦
大会
- 27日・議会運営委員会
- ・令和7年度八戸・能代間、
北東北横断道路整備促進
期成同盟会総会
- 28日・全国民間航空所在都市議
会協議会第107回定期総
会
- ・令和7年度北秋田市日沿
道建設促進期成同盟会総
会
- 29日・議会運営委員会
- ・令和7年度能代港湾振興
会総会

議会見学

清鷹小・鷹巣小

6月16日に清鷹小学校6年生児童20人、17日に鷹巣小学校6年生児童47人が市役所を訪れ、傍聴席から本会議の様子を見学したり、議会事務局職員から説明を受けるなどし、議会の役割などについて学びました。



市議会へのご意見を募集しています

- 対 象 市内在住又は通勤通学をしている方
- 方 法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公 表 ホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392
北秋田市花園町19番1号 北秋田市議会事務局
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845



北秋田市議会

検索



<https://www.city.kitaakita.akita.jp/genre/shigikai>

議会を傍聴してみませんか？

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧ください。ようお待ちしています。

次の定例会は9月の予定です

各常任委員会の会場

▷総務文教 ▷市民福祉

▷産業建設

いずれも会場は本庁舎

5月

- 29日・令和7年度能代港湾洋上
風力発電拠点化期成同盟
会総会

6月

- 1日・第41回大潟祭ふるさと踊
りフェスティバル
- 12日・本会議
- ・議会運営委員会
- ・広報広聴特別委員会
- 16日・本会議 一般質問①
- ・議会運営委員会
- 17日・本会議 一般質問②
- 19日・総務文教常任委員会
- ・市民福祉常任委員会
- ・産業建設常任委員会
- 25日・議会運営委員会
- ・6月定例会（最終日）

7月

- 2日・議会運営委員会
所管事務調査（～4日）

広報広聴特別委員会

- 委員長 五代儀義富
- 副委員長 松橋久敏
- 委員 福岡由巳
- 委員 久留嶋範子
- 委員 中嶋洋子
- 委員 長崎克彦

全国市議会議長会表彰

6月定例会初日の冒頭、第101回全国市議会議長会定期総会において議員20年以上在職者及び議員15年以上在職者に表彰の伝達を行いました。

伝達式では、表彰状が手渡されると、議員や当局の出席者からは拍手が送られ、長年にわたり地方自治の発展と振興に尽力された功績をたたえました。

議員20年以上在職者

中嶋 洋子



所属会派：清明会
役 職：副議長
委 員 会：市民福祉常任委員会
広報広聴特別委員会

福岡 由巳



所属会派：無会派
役 職：産業建設常任副委員長
委 員 会：産業建設常任委員会
広報広聴特別委員会

議員15年以上在職者

堀部 壽



所属会派：清明会
役 職：議長
委 員 会：総務文教常任委員会

久留嶋 範子



所属会派：日本共産党議員団
委 員 会：市民福祉常任委員会
広報広聴特別委員会

小笠原 寿



所属会派：清明会
役 職：総務文教常任委員長
委 員 会：議会運営委員会
総務文教常任委員会